

2024年3月13日

報道関係各位

株式会社OKB総研

「OKB景況指数」2024年3月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 青木 義美)は、3ヵ月ごとに「OKB景況指数」を公表しております。このたび、2024年3月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景気全般は4.8(前回比+4.0)と2期ぶりに上昇。一方、生産活動は前回比▲10.3と低下が目立つ。
景気の方角	3ヵ月後の景気は悪化を予想。生産活動は、大手自動車メーカーの不正問題による影響への懸念などから、特に愛知県において減少見通し。
追加調査	賃上げへの関心は昨年同時期に比べ、『高まっている』が83.1%、2024年春のベースアップの実施見込みは、「少数のみ実施」が58.5%となった。ベースアップに特に積極的な業種を尋ねたところ、「輸送用機械器具製造業」が最も多く、次いで「建設業」、「運送(物流・倉庫)」と続いた。

OKB景況指数とは・・・

OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長を調査対象としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。

県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計

「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、**県域より狭い地域の景気水準を表す指標**を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤・梅木 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

OKB景況指数（2024年3月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（119名）
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2024年2月上旬に調査票を配付し、2月下旬までに回収

調査結果

景気的水準： 景気全般は4.8（前回は+4.0）と2期ぶりに上昇。一方、生産活動は前回は▲10.3と低下が目立つ。

景気の方： 3ヵ月後の景気は悪化を予想。生産活動は、大手自動車メーカーの不正問題による影響への懸念などから、特に愛知県において減少見通し。

	景気的水準(2024年3月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> 景気全般は4.8（前回は+4.0）と、2期ぶりに上昇。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲5.7と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <p>円安効果の恩恵を受ける自動車やアフターコロナの需要を取り込んだ業種の業績は堅調なるも、大手自動車メーカーの不正問題などの一連の影響は注視が必要。電気代高騰、原材料高への対応には依然として苦慮するも、コスト上昇分の価格転嫁が進んでいる企業もあり。能登半島地震は今のところ地域内において大きな影響となっている様子はない。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県は6.8（前回は+1.5）、岐阜県は3.6（前回は+5.7）となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県は▲9.6と「悪化」超 岐阜県は▲3.1と「悪化」超
	<p>(支店長コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛知県では、自動車関連産業について、大手自動車メーカーの不正問題により受注に影響を受けている企業が散見される。また、戸建て住宅市場の低迷が続いており、地場の建設業者や不動産業者の業績に影響が出てきている。 岐阜県では、値上げの浸透度合いで業種毎の景気に差がみられる。製造業は全般的に値上げが浸透してきており、業績の回復が見受けられる。一方で、運送業、建設業では、値上げの浸透度合いが遅く、業績上も苦戦している。 	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> 三河、飛騨・郡上を除く地域が前回から上昇。 	<ul style="list-style-type: none"> 「悪化」超 名古屋、三河、岐阜、西濃
	<p>(支店長コメント)</p> <p>【三河地域】 自動車部品製造業を中心に足元の景気動向は不確定、もしくはあまり良くない印象。主要因は大手自動車メーカーの不正問題。直接取引がなくても既に生産停止の影響を受けている企業があり、今後も急激な受注減少の可能性はある。</p> <p>【西濃地域】 企業活動は原材料高や人手不足の影響から、増収減益の傾向が続く。工作機械関連では、中国景気悪化の影響が長期化。飲食業については売上が増加傾向にある。一方、日用品を中心に節約志向が続いている。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> 「全地域」を項目別に見ると、「生産活動」は▲0.9（前回は▲10.3）と低下幅が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「増加」超 「個人消費」、「設備投資」、「資金需要」 「減少」超 「生産活動」、「企業収益」 「不足」超 「雇用」
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「個人消費」：賃金は上昇傾向にあるものの、物価高の影響もあり、旺盛な消費需要には至っていない。住宅価格の高騰から、マイホームの購入について慎重になっている。資産運用に関心を寄せる顧客は多く、特に物価高対策への関心が強い印象。</p> <p>「生産活動」：自動車産業は大手自動車メーカーの不正問題により年明けから受注が減少するなど影響あり。建設業においては、資材に加え地価も高騰しており、住宅1軒当たりの価格も上昇。販売し難い状況にある。工作機械は中国向け輸出が減少しており、今後の受注も減少していく見込み。</p> <p>「設備投資」：脱炭素に繋がる設備投資を検討する企業が増えている。また、ものづくり補助金を活用し、設備機械導入を模索する企業が増加傾向にある。</p> <p>「企業収益」：値上げが定着化しつつあり、コスト高が先行していた昨前半と比べれば、収益面では良化してきている。2024年問題を抱える運送業者で、元請け企業への値上げ要請が快諾された等の声もあり、値上げへの一定の理解が進んでいる。</p> <p>「雇用」：中小零細に対する雇用環境は依然厳しい。高齢化に伴う生産効率の低下や賃上げ・働き方改革等の影響も大きい。</p>	

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」・・・調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
 ②「景気の方角」・・・景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。
 各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2024年3月期)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)	今期水準(前回比)
名古屋	7.9 (+5.3) ↑	▲5.3 (▲5.3) ↓	2.6 (▲18.4) ↓	13.2 (+2.6) ↑	7.9 (0.0) ⇐	7.9 (▲13.2) ↓	63.2 (▲2.6) ↓
東尾張	11.1 (+2.2) ↑	5.6 (+0.2) ↑	7.4 (▲15.8) ↓	14.8 (+0.5) ↑	1.9 (+0.1) ↑	5.6 (+0.2) ↑	68.5 (+6.0) ↑
西尾張	3.1 (+9.0) ↑	▲6.3 (+8.5) ↑	9.4 (▲8.3) ↓	6.3 (+6.3) ↑	9.4 (+32.9) ↑	9.4 (+15.3) ↑	65.6 (▲2.0) ↓
三河	0.0 (▲18.2) ↓	▲13.6 (0.0) ⇐	0.0 (▲27.3) ↓	0.0 (▲9.1) ↓	0.0 (▲13.6) ↓	0.0 (▲9.1) ↓	68.2 (0.0) ⇐
岐阜	9.5 (+3.6) ↑	▲2.4 (▲9.5) ↓	▲2.4 (▲10.7) ↓	3.6 (+2.4) ↑	▲11.9 (▲2.4) ↓	▲14.6 (▲7.5) ↓	60.7 (▲8.3) ↓
西濃	6.9 (+11.9) ↑	▲8.6 (+13.0) ↑	▲1.7 (▲5.1) ↓	1.7 (▲4.9) ↓	▲13.8 (▲2.1) ↓	▲6.9 (+1.4) ↑	75.9 (+0.9) ↑
東濃・可茂	▲10.0 (+7.5) ↑	▲10.0 (+5.0) ↑	▲7.5 (0.0) ⇐	▲5.0 (▲5.0) ↓	▲12.5 (+15.0) ↑	▲2.5 (+2.5) ↑	70.0 (+10.0) ↑
飛騨・郡上	▲10.0 (▲20.0) ↓	▲10.0 (▲30.0) ↓	▲30.0 (▲20.0) ↓	▲60.0 (▲30.0) ↓	▲10.0 (+30.0) ↑	▲60.0 (▲30.0) ↓	90.0 (0.0) ⇐
桑名・四日市	0.0 (+7.1) ↑	▲14.3 (+14.3) ↑	▲14.3 (+14.3) ↑	▲14.3 (0.0) ⇐	▲28.6 (+28.6) ↑	0.0 (+14.3) ↑	35.7 (▲28.6) ↓
愛知県(4地域)	6.8 (+1.5) ↑	▲2.7 (+0.6) ↑	5.5 (▲16.5) ↓	10.3 (+0.9) ↑	4.8 (+5.5) ↑	6.2 (▲1.2) ↓	66.4 (+1.1) ↑
岐阜県(4地域)	3.6 (+5.7) ↑	▲6.3 (▲0.6) ↓	▲4.7 (▲7.3) ↓	▲2.1 (▲3.1) ↓	▲12.5 (+3.0) ↑	▲12.1 (▲3.9) ↓	68.8 (▲1.4) ↓
三重(1地域)	0.0 (+7.1) ↑	▲14.3 (+14.3) ↑	▲14.3 (+14.3) ↑	▲14.3 (0.0) ⇐	▲28.6 (+28.6) ↑	0.0 (+14.3) ↑	35.7 (▲28.6) ↓
全地域	4.8 (+4.0) ↑	▲5.1 (+0.5) ↑	▲0.9 (▲10.3) ↓	2.6 (▲1.4) ↓	▲6.0 (+4.9) ↑	▲4.0 (▲2.0) ↓	66.5 (▲1.4) ↓

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) () 内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 雇用は「不足-過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2024年6月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」-「悪化」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「増加」-「減少」	「不足」-「過剰」
名古屋	▲5.3 ↓	0.0 ⇐	▲5.3 ↓	5.3 ↑	0.0 ⇐	26.3 ↑	31.6 ↑
東尾張	0.0 ⇐	22.2 ↑	3.7 ↑	14.8 ↑	3.7 ↑	11.1 ↑	37.0 ↑
西尾張	0.0 ⇐	▲12.5 ↓	▲31.3 ↓	▲6.3 ↓	▲12.5 ↓	6.3 ↑	31.3 ↑
三河	▲54.5 ↓	0.0 ⇐	▲36.4 ↓	18.2 ↑	0.0 ⇐	0.0 ⇐	36.4 ↑
岐阜	▲4.8 ↓	9.5 ↑	0.0 ⇐	9.5 ↑	▲2.4 ↓	14.6 ↑	23.8 ↑
西濃	▲3.4 ↓	3.4 ↑	0.0 ⇐	24.1 ↑	▲3.4 ↓	17.2 ↑	31.0 ↑
東濃・可茂	0.0 ⇐	10.0 ↑	▲10.0 ↓	10.0 ↑	0.0 ⇐	10.0 ↑	10.0 ↑
飛騨・郡上	0.0 ⇐	0.0 ⇐	40.0 ↑	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	40.0 ↑
桑名・四日市	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲14.3 ↓	0.0 ⇐	42.9 ↑
愛知県(4地域)	▲9.6 ↓	5.5 ↑	▲12.3 ↓	8.2 ↑	▲1.4 ↓	12.3 ↑	34.2 ↑
岐阜県(4地域)	▲3.1 ↓	7.3 ↑	0.0 ⇐	13.5 ↑	▲2.1 ↓	13.7 ↑	24.0 ↑
三重(1地域)	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲14.3 ↓	0.0 ⇐	42.9 ↑
全地域	▲5.7 ↓	6.3 ↑	▲5.1 ↓	10.8 ↑	▲2.3 ↓	12.6 ↑	29.0 ↑

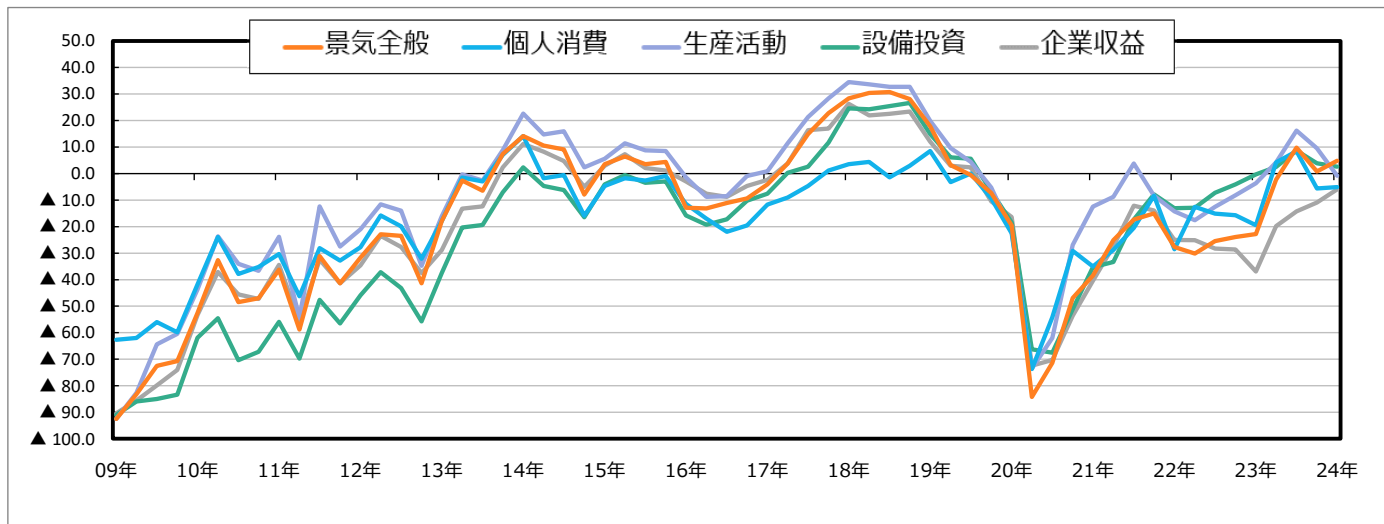
(※) 景気全般は、3ヵ月後には景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

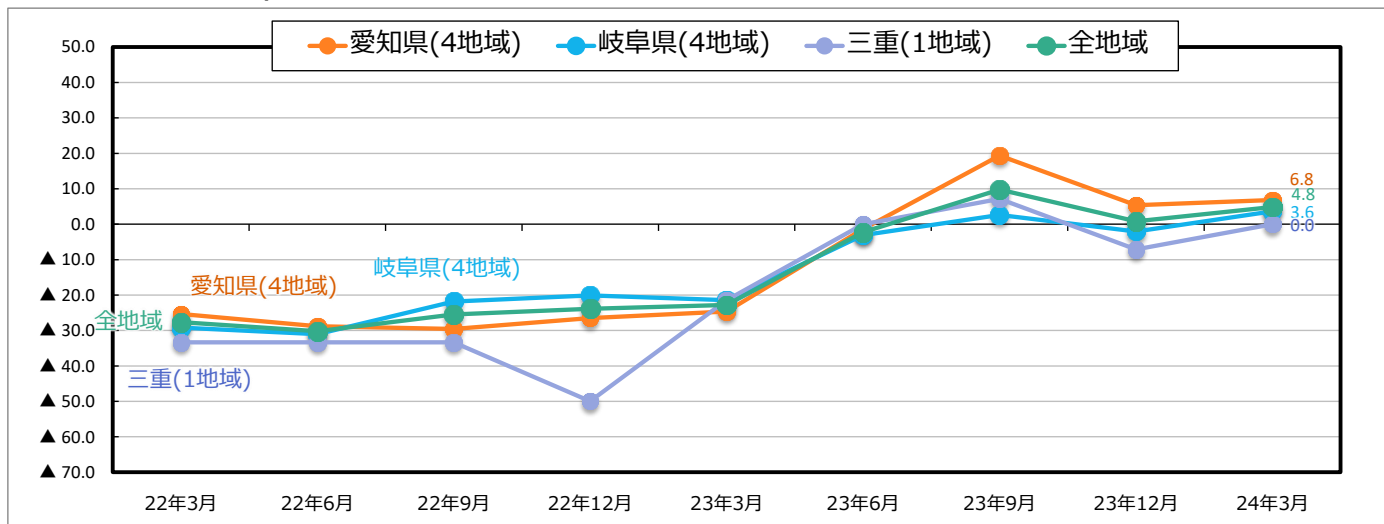
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

「景気の水準」の推移

■項目別（資金需要、雇用を除く）

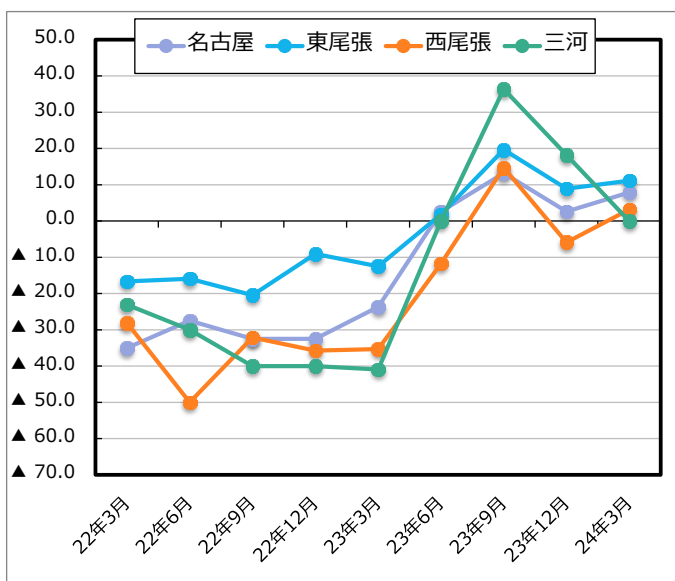


■県別（景気全般）

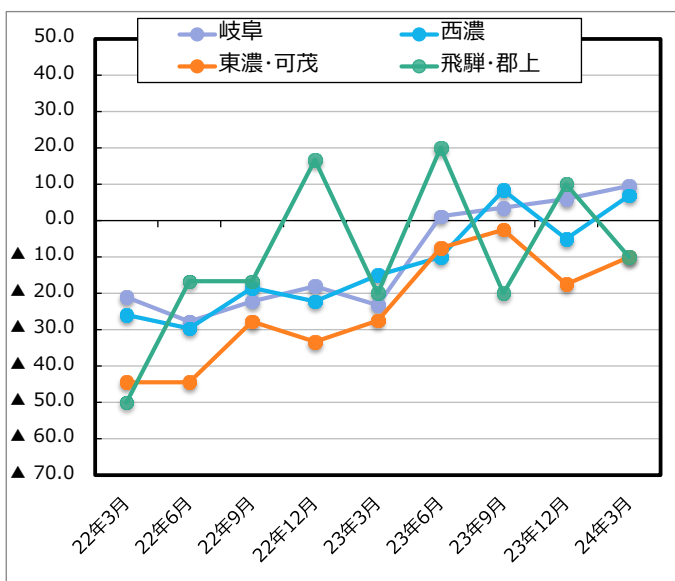


■地域別（景気全般）

①愛知県内



②岐阜県内



追加調査 1

「地域企業の賃上げ動向」

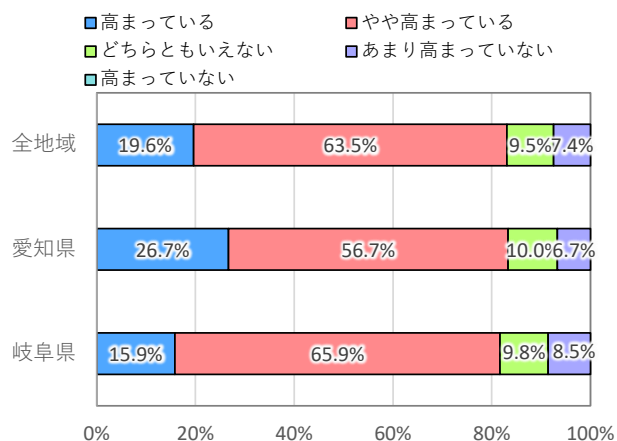
追加調査「地域企業の賃上げ動向」では、各支店長に支店エリア内企業の賃上げ動向について尋ねた。

- ①賃上げへの関心は昨年同時期に比べ、『高まっている（高まっている+やや高まっている）』が 83.1%
- ②2023 年度ベースアップ実施状況は、「少数のみ実施」が 56.5%
- ③2023 年度 3%以上の賃上げの実施状況は、「少数のみ実施」が 63.3%
- ④2024 年春のベースアップの実施見込みは、「少数のみ実施」が 58.5%

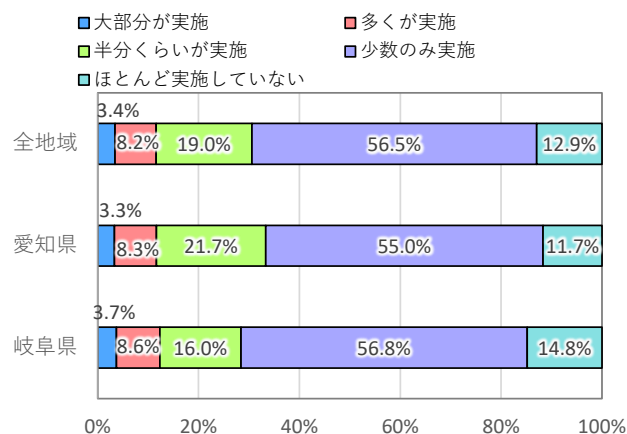
- ①「エリア内企業の賃上げへの関心は昨年同時期に比べ高まっていると感じますか」と尋ねたところ、「高まっている」が 19.6%、「やや高まっている」が 63.5%、「あまり高まっていない」が 9.5%、「高まっていない」が 7.4%となった。
- ②「2023 年度のベースアップの実施状況はどの程度か」を尋ねたところ、「少数のみ実施」の回答が 56.5%と最も多く、次いで「半分くらいが実施」が 19.0%となった。
- ③「2023 年度に賃上げを 3%以上実施した企業はどの程度か」と尋ねたところ、「少数のみ実施」の回答が 63.3%と最も多く、次いで「ほとんど実施していない」が 18.4%となった。
- ④「2024 年春のベースアップの実施見込みはどの程度ですか」と尋ねたところ、「少数のみ実施」が 58.5%と最も多く、次いで「半分くらいが実施」が 22.4%となった。
- ⑤ベースアップに特に積極的な業種は、「輸送用機械器具製造業」が 34.1%で最も高く、次いで「2024 年問題」の影響が懸念される「建設業」（33.0%）と「運送（物流・倉庫）」（20.9%）が続いた。

コメントでは、「経営者の賃上げ意識は着実に高まっている」、「2024 年問題により、運送業での賃上げが目立つ」といったものがあつた一方、「一時金や賞与などスポット対応に留まる」、「業況により差がみられる」、「中小・零細企業はほとんど賃上げできていない」、「賃上げ実施できない代わりに、休暇制度などを見直す企業がある」といった内容がみられた。

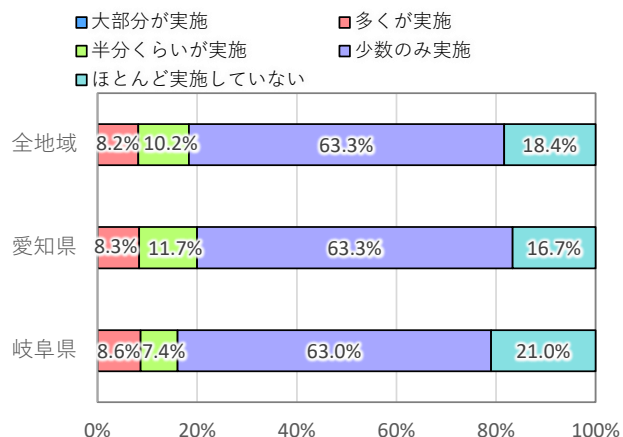
①エリア内企業の賃上げへの関心（昨年同時期比）



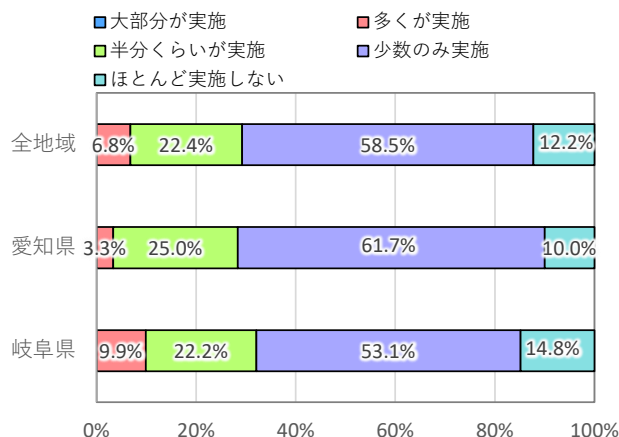
②2023 年度ベースアップ実施状況



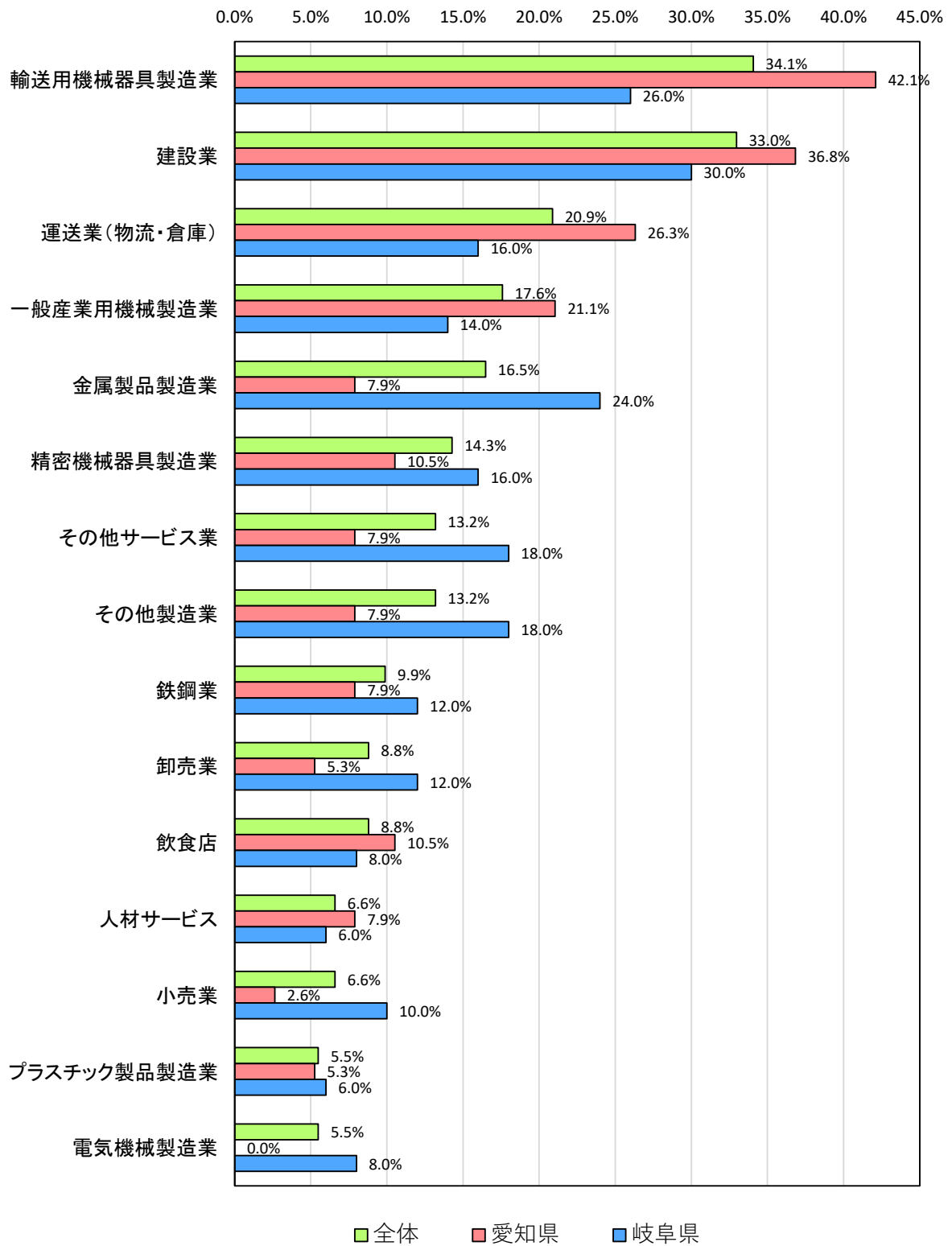
③2023 年度 3%以上の賃上げ実施状況



④2024 年春のベースアップの実施見込み



⑤ベースアップに特に積極的な業種（上位 15 業種）

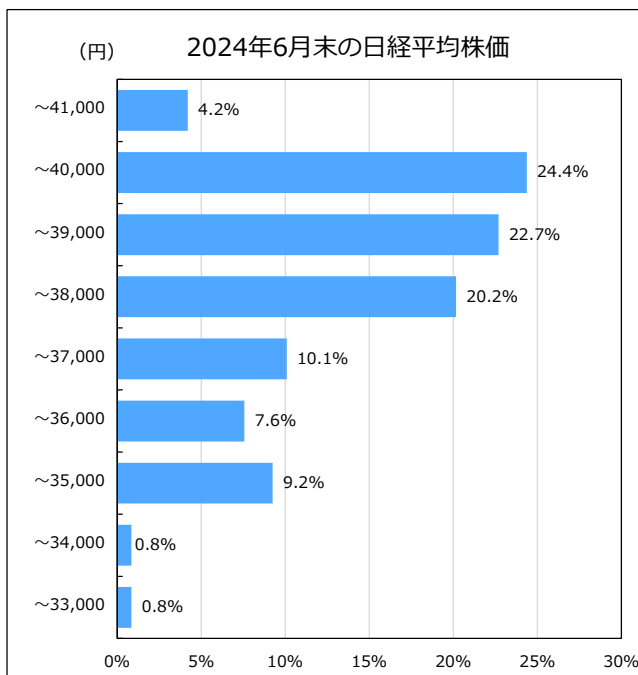
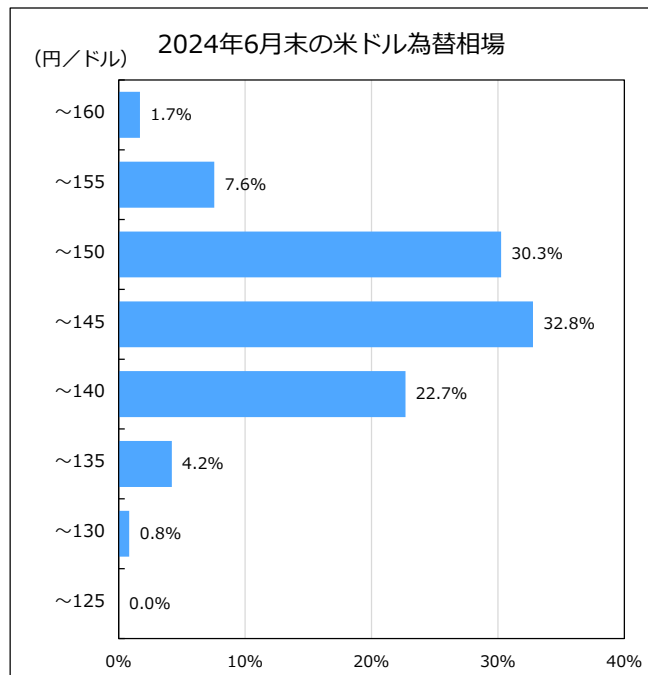


追加調査 2

「2024年6月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2024年6月末の相場予想の平均は、米国の利下げと日銀の金融政策修正により、日米金利差は縮小し円高方向へ向かうとの見方から、米ドル為替相場は1ドル=144.4円となった。
日経平均株価の予想平均は38,047円だった。

2024年6月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は1ドル=144.4円、日経平均株価の予想平均は38,047円だった。米ドル為替相場は、米国の利下げと日銀の金融政策修正により、日米金利差は縮小し、円高方向へ向かうとの見方から、「140円超145円以下」を予想する声が多い。日経平均株価は、堅調な企業業績や為替が円安水準にあることを背景に「39,000円超40,000円以下」を予想する声が多い。



2024年6月末の米ドル為替相場 (円/ドル)

	全体	愛知県	岐阜県
平均値	144.39	144.97	144.07
最大値	155.50	155.50	155.50
最小値	130.00	130.00	133.50
最頻値	145.00	145.00	145.00
中央値	145.00	145.00	145.00

(ご参考)

2024年2月相場 (円/ドル)	
月中高値	150.88
月中安値	145.88
月末時点	149.98

出所：Refinitiv

・予想コメント

円安要因 (一部抜粋)
・米国の金利高止まり
・日銀の金融緩和姿勢継続
・日米金利差の持続
・日米の貿易赤字
円高要因 (一部抜粋)
・米国の長期金利の低下
・米国の利下げ開始
・日銀の金融緩和修正
・日米金利差の縮小

2024年6月末の日経平均株価 (円)

	全体	愛知県	岐阜県
平均値	38,047	37,800	38,172
最大値	41,000	41,000	41,000
最小値	33,000	33,000	35,000
最頻値	39,000	38,000	39,000
中央値	38,350	38,000	38,800

(ご参考)

2024年2月相場 (円)	
月中高値	39,426.29
月中安値	35,854.63
月末時点	39,166.19

出所：Refinitiv

・予想コメント

上昇要因 (一部抜粋)
・円安を背景とした日本企業の堅調な企業業績
・好調が予想される大手企業の3月末決算
・円安を背景とした海外マネーの流入
・米国株式の上昇
下落要因 (一部抜粋)
・高値更新の不服感からの調整
・日銀の金融政策変更、金利上昇
・円高の進行

以上